



若年性認知症をご存じですか

～働き盛りの年代で認知症になる人もいます～



問い合わせ先／市役所長寿課長寿支援係 ☎76-8143

認知症は加齢とともに発症しやすくなりますが、年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」といいます。働き盛りの世代のため、本人だけでなく、家族の生活にも影響があります。

早期診断と早期治療が大切です

初期の認知症はうつ病や更年期障害などに間違えられる場合もあり、中にはもの忘れがあってもMRI画像では海馬の萎縮が見られないなど、難しい判断が求められるのも特徴です。重度化するまで認知症を見逃すケースもありますので、早くからかかりつけ医と専門医がしっかりと情報共有しながら診療する必要があります。

若年性認知症支援コーディネーターが支援します

若年性認知症は、進行が早いとされています。現役で働いている人が多い世代のため、就労を継続できるかどうかで、その後の生活に大きな影響があります。本人・家族の意向や職場の状況を把握し、職場の理解が得られるよう連携して支援していくのが、若年性認知症支援コーディネーターの役割です。

相談窓口 (月～土曜日(祝日、年末年始を除く)午前10時～午後3時)
県若年性認知症総合支援センター
☎0562-45-6207

どんな制度やサービスがあるの？

働き続けられる？

情報交換の場はある？

家族や周囲の接し方は？



市にも相談できる場所があります



地域包括支援センター

専門的な知識を持つ介護支援専門員、社会福祉士、保健師などが支援を行います。また、認知症地域支援推進員も配置しています。

とき 平日午前8時30分～午後5時15分

ところ 保健福祉センター 1階

問い合わせ先 ☎55-0654



認知症カフェ(かたろ～な)

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

認知症のかたやその家族が情報交換できる場です。お茶を飲みながら、専門スタッフに相談できます。

とき 毎月1回程度

ところ 市内4カ所

詳細は
こちら

